

おろしまち保健室だより Vol. 22

令和3年11月号

どうする？今年のインフルエンザワクチン

11月に入り、インフルエンザのシーズンが到来しました。昨年は、例年と比べてインフルエンザの発生が非常に少なく、心配されていた新型コロナウイルス感染症との同時流行は起こりませんでした。

インフルエンザにかかる人が減少した理由として、コロナ対策として行われている手洗いやマスク、3密を避ける、国際的な人の移動を制限するなどの感染対策が効果的であったと考えられています。では、今年についてはどうでしょうか？

◆ 今年のインフルエンザ流行の予測は？

インフルエンザ流行の予測をする際には、南半球での流行を参考にすることがあります。オーストラリアでは昨年同様、患者数が極めて少数となっている一方、バングラデシュやインドなどアジアの亜熱帯地域では、インフルエンザの流行が認められました。

日本では、昨年インフルエンザに罹った人がごく少数であったため、社会全体の集団免疫が形成されていないと考えられています。そのため、**今後国際的な人の移動が増加し、海外からインフルエンザウイルスが持ち込まれた場合、大きな流行を起こす可能性**があります。



◆ インフルエンザワクチンは接種したほうがよい？

日本感染症学会では、今シーズンも、6か月以上5歳未満の子どもや65才以上の高齢者、基礎疾患のある人など、インフルエンザにかかった際に重症化しやすい因子を持つ人を含め、**すべての人（インフルエンザワクチン接種が禁忌の場合を除く）**に対し、**インフルエンザワクチンの積極的な接種を推奨**しています。

◆ インフルエンザワクチン接種のタイミングは？

厚生労働省の発表によれば、2021-2022年度ワクチンの供給量は、このシーズン全体で見るとほぼ例年通りとのことで、すでにインフルエンザワクチンの接種が始まっている医療機関も多くみられます。インフルエンザ流行の時期を考えると、10月中に接種するのが

理想的とも言われていますが、今年度は新型コロナワクチン接種と同時並行で行われており、接種可能となった時点で早めに受けるのがのぞましいということになります。

新型コロナワクチン接種がまだ終了していない場合や、今後 3 回目の追加接種を受けるとする場合、インフルエンザワクチンをどのタイミングで接種したらよいか？と迷うこともあるのではないのでしょうか。

現在、日本では新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンの同時接種は行われていませんので、まだ新型コロナワクチンを接種していない場合は、まずそちらを優先して予防接種の予定を立てることになります。



なお、**新型コロナワクチンとその他のワクチンとは、2週間以上の間隔をあけて接種することとされていますので、予約などの際はご注意ください。**

ワクチン接種＋日頃の感染対策で、新型コロナウイルス感染症も、インフルエンザも予防していきましょう！

<参考>

日本感染症学会「2021-2022年シーズンにおけるインフルエンザワクチン接種に関する考え方」

【今後のおろしまち保健室】

令和4年1月20日（木） 13:30～17:00
卸町会館2階 第2会議室 **（※場所が変わりました）**
予約不要：直接会場へお越してください

仙台卸商健康保険組合：984-0015 宮城県仙台市若林区卸町 2-9-5 Tel：022-235-5896
おろしまち保健室（保健師）：hokenshitu@os-kenpo-sendai.jp